



栗山で輝くヒト・モノ・コトをクローズアップ

# きりやま☆くりやま

## 食事処名取屋 ホルモン鍋



◎熱々の味噌スープに豆腐、ネギ、卵、そして豚モツがふんだんに入ったホルモン鍋は、炭鉱夫を始めとした多くの町民の舌を鳴らし愛されてきた一品

## 歴史とお客様が紡いだ栗山のソウルフード

ホルモン鍋の黎明期は、炭鉱夫の胃袋を支えた

昭和46年に現在の地へ移転して52年目。移転前は大正15年頃に新二岐駅(旧夕張鉄道)の向かいにお店を構え、大衆食堂として炭鉱夫のお腹を満たす存在でした。ホルモン鍋は、現在のような名物ではなく、数あるメニューの一つにすぎなかったようです。

角田炭坑の閉山に伴い、新二岐駅も廃駅となり日出地区の人口が急減。翌年、現在の場所に店を移しました。

お客様が選び続けて名物となったホルモン鍋

ホルモン鍋は、いつしかお店の名物料理へと成長します。3代目の伊藤広美さんに聞くと「私たちは『ホルモン鍋を名物にする』という考えは無く、お客様たちがホルモン鍋を注文してくれた積み重ねで名物になった、と考えています」という言葉が返ります。時代の変化の中でも、変わらない味とお客様の愛着により残り続けているホルモン



伊藤さんは、2代目のお父さんと共に3代目としてお店を切り盛りしている

鍋。一昨年からキムチやニラなど、トッピングメニューを追加し、唯一無二の味を守りつつも、変化を楽しめるようになりました。

もっと多くの人にホルモン鍋を食べてもらいたい、店とお客様と共に紡いだホルモン鍋を守りたいという想いで、試行錯誤を続けています。

### 広報アンケートにご協力をお願いします

広報1月号の感想をお待ちしています。お答えいただいた方から抽選で「名取屋ホルモン鍋定食(トッピング付) 食事券・一食分」を3名様にプレゼントします。

- Q1/ 氏名 Q2/ 住所 Q3/ 性別 Q4/ 年齢
- Q5/ 今月の感想 Q6/ 特集と裏表紙の感想
- Q7/ 広報に関する意見・感想 (×切1月末)



二次元コードから回答ください(応募は1人1回。ハガキの場合は役場へ郵送)。結果は発送をもって返させていただきます。(2月発送予定)

